

# 山 旅

会報 No.270  
好山好山旅会



雪倉岳のシナノキンバイ

## 平成28年9月例会山行計画

|               |                           |        |
|---------------|---------------------------|--------|
| 第一例会<br>熊野古道  | 9月10日(土)～13日(火)<br>奥駈道    | 担当者 大田 |
| 第二例会<br>上信越   | 9月17日(土)～18日(日)<br>白砂山    | 担当者 木村 |
| 第三例会<br>北アルプス | 9月24日(土)～27日(火)<br>槍ヶ岳～燕岳 | 担当者 板橋 |
| 第四例会<br>奥多摩   | 9月25日(日)<br>御前山           | 担当者 高橋 |
| 第五例会<br>尾瀬    | 9月30日(金)～10月1日(土)<br>至仏山  | 担当者 白井 |

## 《 浅草岳・守門岳 》

7月第一例会

7月2日（土）～3日（日）

メンバー：白井（L）、早川、池田、船生、木村、板橋、大平 計7名

—白井 記—

### 【1日目】曇り時々晴れ

この時期一昨年から3回目の計画で今年も天気予報ではあまり芳しく無かったが、1日目は夕方まで曇りの予報だったので、1日目の浅草岳のみでも登ればOKと実施。

長岡駅から少々大きめのレンタカー（8人乗り）でネズモチ平駐車場に10時着、日帰り参加の木村さんは1時間程前に到着していた。下り坂の天気予報のためか、ヒメサユリの時期なのでバスツアーの団体や大勢の登山者を予想していたが、小型バス2台を含めて車の数はそれほど多くは無かった。林道入り口から10分程歩くと左手にネズモチ平登山口、注意しないと見過ごしてそのまま進んでしまう恐れがある。登山道は最初からぬかるみ続きで足の置場に苦勞する。湿度が高いので、流れ落ちる汗をぬぐいながらだんだんきつくなる道を進む。メンバーの一人のHさんが暑さとシャリバテでギブアップし、戻る事になったが、大平さんが持っていた「ブドウ糖タブレット」を貰い食べて休んでいたところ数分後に復活し追いついて来た。

きつい登りが終わると視界が開け、頂上方面と反対側に守門岳が現れた。雲も一部切れ陽射しも出て来ると前岳分岐に到着、ここから雪渓を超えて木道を歩いて行くとヒメサユリに迎えられた。新潟、福島、山形の県境のこのあたりにしか自生しておらず、IUCN（国際自然保護連合）の絶滅危惧種に指定されている希少種で3年前から見たいと思っていたヒメサユリにようやく会う事が出来た。山頂からは鬼が面山の断崖その向こうに越後三山、燧が岳、田子倉湖など360度の展望。天狗の庭方面に少し下るとヒメサユリの数も増し、シラネアオイ、イワカガミ、白く可憐なトキソウなども見られた。まだ7月の初めにもかかわらずアキアカネの大群が山頂付近を覆っていた。

小一時間頂上でのんびりし、バスツアーの団体が続々と登って来たので下る事にした。帰りは前岳の分岐から桜ゾネコースを降りた。分岐から嘉平与ボッチまでは歩きやすい木道が続き、所々にヒメサユリが見られた。恐らく今週が花のピークであろう。帰り道はぬかるみも無く見通しの良いブナ林、草地帯を下った。途中、地元の方が築いた皇太子様ご成婚記念「浅草の鐘」をHさんが打つ。心得には「心静かに打つ鐘は余韻嫋嫋訝して清めたまいし浅草の山嶺」と有った…。桜ゾネの登山口に着き、ネズモチ平駐車場までは約2Kmの林道歩きで到着。木村さんと別れて残り6名は越後須原の宿（民宿治兵衛）へ向かった。

### 【2日目】雨

予報通り朝から雨。守門岳は中止とし、12年前の中越地震で大きな被害があった山古志村を通り長岡駅へ戻った。

☆コースタイム 長岡駅 8:45（レンタカー）～ネズモチ平駐車場 10:00～登山口 10:25～前岳 12:25～12:50 浅草岳山頂 13:45～嘉平与ボッチ 14:20～桜ゾネ 15:30～ネズモチ平駐車場 16:00～民宿 17:00

☆費用 鉄道（JR新幹線）；東京～長岡 8,950円（片道）  
レンタカー；27,432円/1台＋ガソリン代 1,699円  
宿泊費；民宿「治兵衛」6,800円

## 《 白馬岳・雪倉岳・朝日岳 》

7月第三例会

7月10日(日)～12日(火)

参加者：板橋(L)、木村、大平、栗林(ゲスト) 計4名

—板橋 記—

### 【1日目】晴れ

1週間前の予報では、1番長い歩行時間の11日に傘マークが付いていたので心配したが、実際には3日間、雨にあわずに歩けた。

7時30分あずさ3号新宿発、11時28分白馬着。バス・ゴンドラ・ロープウェイを乗り継いで、12時55分梅池自然園発。ビジターセンターからの登山道は、岩がごろごろの上り。銀嶺水は水を補給するほど水量は多くない。休憩するとブヨが寄って来るので、防虫スプレーは必須。岩の間をちよろちよろ水が流れる所を過ぎると小さな雪渓に出る。間もなく、天狗原。木道の左右にアヤメが咲いている。蒸し暑いので30分に1回水分補給。大きな岩を伝い歩きする所は慎重に通過。2つ目の雪渓は、アイゼン不要だが、5分かかった。広い台地のハイマツの中に緑色のロープが張ってある所まで来るとケルンが見えてくる。そこが乗鞍岳。ここから白馬大池までは下りになる。湖畔の高台に白馬大池山荘が見えてきた。

4時に着いたが、まだ日が高かったので、4人そろって外でビールを飲んだ。短い歩きだったが山小屋で飲むビールの味は格別だ。

### 【2日目】晴れ

朝日小屋の管理人・清水ゆかりさんからは①出発は朝4時 ②白馬岳頂上に行かなくても10時間かかる。白馬大池から朝日小屋に来る登山者の9割は白馬岳はパス。できれば白馬岳には行かずに来て！という2点のアドバイスをもらっていた。アドバイス通り、4時には出発したが、私以外の3名は健脚で、白馬岳にも行き、小屋に3時25分に着き、夕食までの1時間、持参の酒を飲むことができた。

4時、ヘッドランプを点けて、白馬大池発。朝食は弁当にしてもらった。4時36分、雲の中からの日の出に感動。尾根に出ると風が強くなった。朝の淡い光の中に後立山連峰が見え始めた。双耳峰が鹿島槍、その右が五竜・唐松(木村さんの解説)。1時間半も登ると正面に杓子岳、その右に白馬岳が大迫力で見えてきた。気分の良い縦走路だ。5時50分小蓮華山。相変わらず風が強い。6時35分、三国境で弁当を食べる。ここは新潟・富山・長野の県境が接している。これから行く雪倉岳・朝日岳がゆったりと並んでいるのが見えるが、その前に白馬岳頂上を目指す。50分で山頂。一旦、三国境に戻り、碎石ザラザラの道を下る。鉢ヶ岳の東斜面は大きなお花畑の連続。鉢ヶ岳の標高2300m前後の山腹を15分でトラバース。このあたりは、例年7月中旬まで雪渓が残るが、今年はほんの10m程度だった。

雪倉岳の広い山頂からは朝日岳が間近に見え、振り返ると白馬岳がどっしりと腰を据えていた。下り左右の岩礫地にはミヤマムラサキがたくさん咲いていた。ここの個体数は多いが、他の山では見たことがない。下りの最低部の小川で水1.5リットルを補給したが、25分先に勢いよく流れ落ちる沢があったので、水を入れ替える。冷たくて、うまい水だった。直ぐに小桜ヶ原の木道になり、その名のようにハクサンコザクラや水芭蕉がたくさん咲いていた。水平道入り口に通行止めの看板があったら朝日岳頂上経由で朝日小屋に来てください、と言われていたが、看板がなかったので水平道に入った。アップダウンの連続で小屋まで1時間40分もかかった。

### 【3日目】晴れ

朝日小屋の夕食は4時30分、朝食は5時。夕食も朝食も手作りの料理が並びおいしかった。トイレが温水トイレだったのには感激した。さすがに山と溪谷社「泊まって良かった山小屋」の10位にランクされた山小屋だけある。

結果を先に言うとコースタイム 6 時間 20 分のところ 7 時間 30 分もかかり、予定していた列車に乗れなかった。

5 時 30 分、朝日小屋発。朝日岳まで 1 時間 10 分。朝食直後の登りはきつい。20 分下ると梅海新道との分岐。左へ行くとコースタイム 13 時間 45 分で日本海の親不知に着く。我々は直進しひたすら蓮華温泉を目指す。案内書にあったぬかるみも大したことはなく白高地沢橋も瀬戸川橋もしっかりしていた。しかし、非常に蒸し暑く熱中症気味だったせいか、スピードが上がらず、コースタイムより 1 時間 10 分も余分にかかった。楽しみにしていた蓮華温泉の露天風呂もロッジから歩いて 15 分もかかるそうで、内風呂にしか入れなかった。それでも 3 日ぶりに入る風呂は気持ちよかった。2 日目と 3 日目は雪解け直後の花の一番きれいな時で、30 種類くらい花の写真を撮った。直前の土曜日と直後の水曜日が雨で、我々が歩いた 3 日間は晴れたのは幸運だった。

☆コースタイム【1 日目】 梅池自然園 12 : 55～銀嶺水 13 : 40～14 : 10 天狗原 14 : 15～  
乗鞍岳 15 : 25～白馬大池山荘 16 : 00

【2 日目】 白馬大池山荘 4 : 00～小蓮華山 5 : 50～6 : 35 三国境 6 : 45～  
7 : 35 白馬岳 7 : 45～8 : 20 三国境 8 : 35～  
9 : 30 鉢ヶ岳トラバース 9 : 45～10 : 45 雪倉岳 10 : 50～  
12 : 20 最低部の小川で水を補給 12 : 35～13 : 00 沢の水場 13 : 10～  
13 : 35 水平道入口 13 : 45～朝日小屋 15 : 25

【3 日目】 朝日小屋 5 : 30～朝日岳 6 : 40～梅海新道分岐 7 : 05～  
花園三角点 9 : 00～白高地沢橋 10 : 10～10 : 40 昼食 10 : 55～  
瀬戸川橋 11 : 25～兵馬の平湿原 12 : 10～蓮華温泉 13 : 00

☆費用 新宿～白馬 : 5,100 円 + 特 2,380 円 平岩～東京 : 5,940 円 + 特 5,080 円  
ゴンドラ + ロープウェイ 1,920 円 白馬大池山荘 9,800 円 朝日小屋 9,500 円  
タクシー 7,090 円 + 電話代 100 円 (蓮華温泉 - 平岩) 蓮華温泉入浴 800 円

## 《 鳳凰三山 》

7 月第五例会

7 月 30 日 (土) ～ 31 日 (日)

参加者 : 梅澤 (L)、清水、蔵、宮崎 計 4 名

—宮崎 記—

【1 日目】 快晴

梅雨明け最初の週末とあって乗る予定のスーパーあずさは満席、臨時のあずさで 3 名が到着して 9 時半葦崎駅に 4 名が勢揃い。20 人乗り位のバスで御座石温泉に向かう。リーダーは明日の雷雨の予報で迂回コースも検討。御座石温泉に到着し登山届を提出。御座石温泉のご主人は明日の天気は大きく崩れることはない。また雨が降ったとしても他のルートよりも尾根伝いに夜叉神峠へ降りることを勧めてくれた。ともあれ快晴の青空のもと足を踏み出す。いきなりの急登の連続である。西の平を過ぎて、大きく崩れた現場を回りこむように上る。旭嶽、燕頭山と越え標高は 2105m に。御座石温泉が 1064m だから千メートル近く上ってきたことになる。ここからは地図にはなだらかな道と書いてある尾根を 2382m の鳳凰小屋を目指す。この道が展望もなく二時間余り続くので結構きつい。小屋の手前で人だかりが出来ていて富士山を眺めに来ていると言う。かすかに富士の輪郭が見えていた。5 時前に鳳凰小屋に到着。小屋はクラブツーリズムの団体客もあって満員すし詰め、二畳に三人が寝る状態。小屋のご主人の「明日の天

気は大丈夫だよ。」の言葉を信じて就寝。

【2日目】快晴

4時起床。既に出発を始める人たちもいて、トイレは長い列を作っている。朝食は弁当にし、我々も5時過ぎに出発。リーダーは腰の様子がおもわしくないので清水さんと直接観音岳に向かう。我々男二人で地蔵岳のオベリスクを目指す。小屋からも朝日に輝くオベリスクがかすかに見えていたがこの道が厳しい。花崗岩が風化したザレ場を上る。一步進んで半歩下がる状態である。オベリスクが目の前にそびえ立つがなかなか近づかない。それでも振り返れば観音岳の肩に富士山がその姿を現し我々を元気づけてくれる。賽の河原まで来ると青空にそびえ立つオベリスクが目の前に、その造形美に圧倒される。北側には甲斐駒ヶ岳や仙丈ヶ岳がそびえ立つ。オベリスクを途中まで登ってみると更に視界は広がり、北岳、間ノ岳、農鳥岳の白峰三山が顔を出す。そしてこれから向かう観音岳、薬師岳の稜線が続きその先に富士の姿が大きくそびえる。赤抜沢ノ頭から観音岳への稜線は360度の眺望を持つ快適なコースである。足元の岩陰には濃いピンクや淡いピンクのタカネビランジが咲き誇り、目をあげれば八ヶ岳に浅間山、遠くに北アルプスや中央アルプスも望める今年最高の登山日和である。今回の最高地点2840mの観音岳に立ち、薬師岳小屋で遅い朝食を取り、道を急ぐ。

2840mの観音岳から1760mの夜叉神峠までは1000m以上下る長丁場である。バス停は更に下って1380mだから今日は1460m下ることになる。鳳凰三山を堪能した後だけにこの下りがこたえる。途中の南御室小屋の沢水が疲れを癒してくれた。下りのコースタイムを大幅にオーバーして登山口に到着。無事解散となりました。

☆コースタイム【1日目】御座石温泉 10:45～西ノ平 11:50～旭嶽 13:50～

鳳凰小屋 16:50

【2日目】鳳凰小屋 5:15～賽ノ河原 6:20～観音岳 8:55～薬師岳 9:35～

南御室小屋 11:10～杖立峠 13:20～夜叉神峠 14:20～

登山口 15:40

☆費用 バス代 韮崎駅～御座石温泉 1,700円(内200円荷物代)

夜叉神峠登山口～甲府駅 1,420円

鳳凰小屋 8,000円(朝食弁当含む)

★7月第二例会の流石山～三倉山と第四例会の南月山は天候不良のため中止となりました。

★10月16日(日)に役員会を開催いたします。場所等の詳細は追って連絡します。

山旅 No.270 平成28年8月1日発行 発行者 高橋 和行 編集者 木村 成雄

発行所 埼玉県入間市春日町1-11-43 高橋方 好山好山旅会

WebSite <http://www.kozanko.net/>